

今後の松原地区の防災の取り組みについて

松原地区町会連合会

2025年度の松原地区では、各町会のみなさまのご協力により、防災アンケートの実施、防災講座（4回）、総合防災訓練を行いました。たくさんのご意見や気づきをいただき、ありがとうございました。

これらをもとに、来年度以降、特に力を入れて取り組んでいく防災のポイントを、みなさまにお知らせします。

1 簡易トイレの備えをお願いします

大きな地震が起きたときは、たとえ水道が使えても、下水道の安全確認が終わるまでは水洗トイレを使わないようお願いしています。これは、下流地域でのトイレの逆流や汚水被害を防ぐためです。



アンケートでは、非常食を備えている方は多くいらっしゃいましたが、簡易トイレを備えている方はまだ少ないことがわかりました。

いざという時に困らないよう、ご家庭で簡易トイレの備えを進めていただくようお願いします。

2 家が安全な場合は「自宅避難」を考えましょう

松原地区には、比較的新しい耐震基準で建てられた家が多く、大きな地震が起きても、実際に避難所に行く必要がある方は、全体の一部と考えられています。

しかしアンケートでは、半数以上の方が「地震が起きたら避難所に行く」と考えていることがわかりました。

避難所は、どうしてもトイレや寝る場所などが十分でない状況になります。

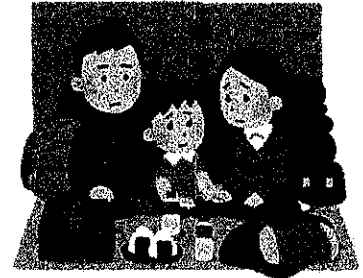
そのため、ご自宅が安全な場合は、まず「自宅での避難」を考えていただくことが大切です。

今後は、自宅で避難されている方の状況が分かるようにしたり、必要な情報をきちんとお届けできるよう、スマートフォンなどを使った連絡の仕組みづくりも進めていきます。

3 避難所の環境を少しずつ良くしていきます

今年の避難所訓練では、明善中学校や地区公民館で、次のような課題が見えてきました。

- 簡易トイレが足りない
- 夜の明かりが不足している
- 電気を使うための準備が十分でない
- 寝るための環境が整っていない
- 介護が必要な方や、感染症対策への備えが足りない



地震の直後は、市からの支援物資がすぐに届かないことも考えられます。
そのため、地区として少しでも安心して過ごせるよう、必要な物を少しずつ自分たちで備えていきたいと考えています。

なお、明善中学校のトイレがすべて洋式になるのは 2033 年以降の予定のため、それまでの対策もあわせて考えていきます。

4 安否確認の方法を分かりやすくします

災害時に「誰が無事で、誰が助けを必要としているのか」を早く知ることは、とても大切です。

現在の安否確認の方法を見直し、より分かりやすく、使いやすい形に変えていきます。

あわせて、無線機の置き場所を見直したり、使える人を増やすなど、いざという時に役立つ安否確認体制を整えていきます。

今後も、みなさまのご理解とご協力をいただきながら、
「いざという時に本当に役に立つ防災」を進めていきたいと考えています。
どうぞよろしくお願いいたします。



なお、防災アンケート結果については、別途回覧します。
市のホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

